

CSRの取り組み

東京スター銀行は、企業としての社会的責任を果たし、社会・お客さまとともに発展していくため、社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。そして、これらの活動を実施する際の指針となる基本方針として、「社会への貢献」「次世代を担う人材の育成」「ダイバーシティの推進と働きやすい職場環境の提供」の3項目を掲げています。



ESG/ SDGsマップ

東京スター銀行は、持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組んでいます。

Environment (環境) 	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	環境に配慮した取り組み	P.5
	14 海の豊かさを 守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう			
Social (社会) 	17 パートナリシップで 目標を達成しよう			地域金融機関との連携	P.4
	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう		中小企業の経営の改善および地域の活性化のための 取り組みの状況	P.6~P.7
	1 貧困を なくそう	2 飢餓を ゼロに	4 質の高い教育を みんなに	子どもの貧困解決に向けた取り組み 「東京スター 子ども応援プロジェクト」	P.9~P.10
	5 ジェンダー平等を 実現しよう	8 働きがいも 経済成長も			
Governance (ガバナンス) 	5 ジェンダー平等を 実現しよう	16 平和と公正を すべての人に		ダイバーシティの推進と働きやすい職場環境の提供	P.11
				当行のコーポレートガバナンス	P.16
				コンプライアンス体制	P.17
				リスク管理体制	P.18



※[SDGs]: Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称。2015年9月に国連サミットにおいて採択され、国連に加盟する193カ国すべての国がその目標達成に向けた取り組みを行うことが決定している。2030年までの15年間で、あらゆる形態の貧困に終止符を打ち、不平等と闘い、気候変動に対処しながら、誰も置き去りにしないことを確保するための取り組みとして、17の目標と169のターゲットから構成されている。



東京スター 子ども応援プロジェクト

当行では、困難な状況にある子どもの支援として、貧困や虐待防止等の社会問題の解決に向けた取り組みを行ってきました。現在、日本で増加傾向にある「子どもの貧困」においては、単純に経済面だけでなくさまざまな困難を同時に抱えているがために、次世代への貧困の連鎖が大きな問題となっていることに鑑み、当行では、子どもたち、また子どもたちを支える養育者やNPOへの支援が日本社会へ広まるよう、2019年より新たな施策を開始いたしました。子どもの貧困問題解決のための「東京スター 子ども応援プロジェクト」では、以下の3つの活動を行っています。

東京スター 子ども応援プロジェクト

● 社会的養護施設出身者等への奨学金(東京スター銀行奨学金)

社会的養護施設出身者等の大学等進学率は高校卒業者全体と比べて大きな格差があり、中退率も高い状況です。その背景には、親に頼れないがための進学費用の不足だけでなく、これまでの生活環境からくる心理・生活上の不安定が通学や卒業を困難にしている現状があります。

当行では、NPO法人ブリッジフォースマイルと連携し、2019年5月より社会的養護施設出身者等を対象にした奨学金制度『東京スター銀行奨学金』を実施しています。この奨学金制度は、児童養護施設出身者だけでなく社会的養護(自立援助ホーム、里親家庭など)の生活経験がある若者を対象にして、一人あたり年間50万円(最大200万円)を、7人の学生に対して提供します。金銭面での支援に加え、ボランティアが月に1回奨学生と会い直接話を聞くというメンター制度を設けることで、頼る相手の少ない子どもたちを精神的にも支えます。

また、奨学生から年に2回収支計画を提出してもらうことで金銭管理を見守ります。当行行員により金融教育等の講習会を行うなど、奨学生が卒業するまで多方面でサポートしていきます。



● シングルマザーのための就労支援

日本のシングルマザーは、他国と比べて就労収入の水準が低いことが課題とされています。「改正子どもの貧困対策推進法」においても、保護者の所得増加のための就労支援が盛り込まれるなど、子どもの貧困を解決するためには、親の就労収入の改善が重要とされています。

当行では、NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーむと連携し、より安定した職業生活と家庭生活を送れるよう、シングルマザーと子どもたちの生活を応援するため、2019年10月よりオフィスワーク就労支援プログラムを開始し、ビジネスマナーやPC講座等、オフィスワーク向けのキャリアアップ講座を実施しています。

本プログラムは、キャリアアップ講座だけでなく、参加者一人ひとりに対して就業に関するキャリアカウンセリングを提供し、更にプログラム修了後、希望者は東京スター銀行の採用にご応募いただけることが特長となっています。



● 子ども食堂への活動資金支援

子どもの貧困への関心が高まる中、地域の親子に食事を無料または低価格で提供し、温かい居場所づくり・交流拠点づくりを推進する子ども食堂が全国で広がっています。

当行では、子どもたちの成長環境が温かく豊かなものになるように、子ども食堂を支援することを目的として、2019年9月に、11団体13拠点の子ども食堂に合計500万円の寄付を行いました。

本取り組みでは、1ヵ所あたり上限50万円を寄付しており、寄付金は、子ども食堂それぞれのニーズに応じて食材費だけでなくさまざまな使途でご利用いただけるものとなっています。

あわせて、支援先の子ども食堂において、行員によるボランティア活動や子ども向け金融教育などを実施しています。



これら3つの施策にあわせ、行員に対しても「子どもの貧困」問題への意識喚起を行い、ボランティア参加の機会を設けることで、行員や本支店の地域貢献や地域交流の機会としています。SDGsのスローガン「誰一人取り残さない」を実現するためには、一社で支援できる範囲は限られており、多くの企業が支援を行っていくことが重要となります。当行は、現在の取り組みを継続するだけでなく、社会全体で子どもを支え、子どもたちの今と未来が輝くよう、啓発活動を実施してまいります。

ダイバーシティの推進と働きやすい職場環境の提供

当行では、「ダイバーシティ推進は成長の源泉」であり、多様な人材が活き活きと働くことが、組織の活性化や新たな価値創造につながると考えています。お客さまのさまざまなニーズにお応えするべく、多様な視点をビジネスに反映させ、より良いサービスを提供することを目指しています。

● 上司と部下の「関係の質」を高める「1on1ミーティング」をスタート

当行では2019年6月より、上司と部下の「対話」を通じて互いの信頼関係を築き「関係の質」を高める「1on1ミーティング(以下「1on1」)」を、グループ会社を含む全社で導入しました。上司と部下が1対1で話し合う一般的な1on1ミーティングに、「東京スター銀行流アジェンダ(=議題)」として全社共通の議題を定めることで、部下の思考の質・行動の質の改善、長期的な成長を促進しています。多様な人材が活き活きと働き、モチベーションの高い職場となることで社内の活力を生み、事業および組織を持続的に成長させることを目的としています。



「1on1ミーティング」実施の様子

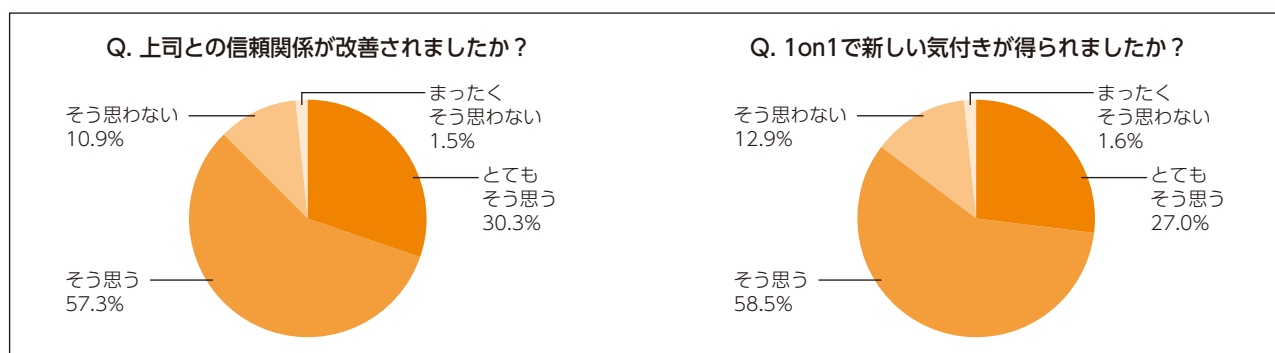
当行の「1on1」は、2018年10月に設立した「ダイバーシティカウンスル」のボトムアップ提案により、導入されました。



上司向け「1on1ガイダンス&研修」

多様な行員で構成される「ダイバーシティカウンスル」プロジェクトメンバーが「1on1事務局」となり、上司向けの「1on1ガイダンス&研修」を実施するなど、現場に根ざしたアプローチでより良い「1on1」実現のため検討を重ね、行員一人ひとりが自らの長期的な成長を具体的にイメージし、上司と共有する時間を持てるようサポートしています。「1on1」開始後3ヶ月のアンケートからも行員の前向きな姿勢がうかがえ、コミュニケーション改善、多様な人材の育成・活用にに向けた行内の機運が高まっています。

<部下への3ヶ月アンケート結果より抜粋>



● 「より良い関係をつくる1on1とは？ 上司対象パネルディスカッション」を開催

部下の成長のためにより効果的な「1on1」を実現すべく、上司のスキル向上をサポートするパネルディスカッションを2019年9月に開催しました。多数の参加者から活発な意見交換が行われ、開催後参加者からは「長い目で信頼関係を築くことが大事であることを再認識できた」「正解が無い中で1on1に取り組む管理職が集まり経験をシェアしたことは有意義」といった声が寄せられました。部門横断的に好事例を共有したことで、上司と部下の信頼関係の向上に向け、意識が高まりました。



パネルディスカッションの様子